

東濃高等学校ホームページをご覧ください、ありがとうございます。

本校は明治 29(1896)年に岐阜県尋常中学校東濃分校として開校した県下で4番目の伝統校で、今年度創立 129 年目を迎えます。校内には明治・大正・昭和・平成の各時代につくられた自転車置場があり、本校の歴史を現在に伝えています。立地する赤陵の森は自然に恵まれ、中山道御嶽宿にも近く、往時の風情を遺すところでもあります。



全日制普通科高校ですが、平成 16(2004)年度から単位制に改編、22(2010)年度からは類型を導入するとともに多くの選択科目を開講しています。令和 4(2022)年度入学生からは 8 類型に充実させ、多様な興味や関心、進路希望に応えています。

近年は国際化の進展の中、本校における「外国につながる生徒」は年々増加し、今年度は全校生徒の 58% を占めています。また、学習や人間関係、将来の目標など、さまざまな悩みをもっている生徒もいます。そうした生徒一人ひとりを大切にしながら個性を伸ばし、未来を拓く力を身に付けてくれることを目指すべく、本校のスクール・ポリシーでは「多様な価値観、個性、文化を認め、互いを尊重して行動できる生徒」を、育てたい生徒像の 1 つに掲げました。自分を大切にしながら、他者のことも思いやり、大切にできる生徒になってほしいと思います。

一昨年 4 月の着任以来、先生方には、生徒たちに「背伸び」をさせるようお願いしています。それは、生徒たちが失敗を恐れず、果敢にチャレンジすることを通してさまざまな学びを体現してほしいという願いからです。令和 3(2021)・5(2023)年度には、全国高校英語スピーチコンテスト東海北陸ブロック大会で第 3 位を受賞しました。また、昨年度は地元小・中学校の英語の授業アシスタントとして何度も参加したほか、国立大学(新潟大学)にも久しぶりに合格者を出しました。このように地域に根ざしつつも幅広い場で生徒たちの活躍する姿は、学校の大きな自信と誇りになっています。

加えて、本校職員の生徒の成長を願う思いは、他校の先生方以上に強いと自負しております。これからも生徒に寄り添いながら、成果を認めて自信を持たせる過程を通じて、一步一步着実に「自立」できる生徒の育成に努めてまいります。

本校としましては引き続き、地域や社会から求められている役割や期待に応え、「なくてはならぬ学校」を目指していきます。保護者や地域の皆さま、関係諸機関におかれましても、本校の教育活動への変らぬご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

※本校の取組はホームページ内「東濃高校トピックス」に掲載しています。ご覧いただければ幸いです。

令和 6(2024)年 4 月

校長 吉田 益穂